

(修正版)

日本産有剣膜翅類検索表

フシダカバチ亜科 (Philanthinae) ツチスガリ属 (*Cerceris*)

寺山 守

フシダカバチ亜科 Philanthinae は今日, Aphilanthopini, Cercerini, Eremiasphecini, Odontosphecini, Philanthini, Pseudoscolini の6族に区分され, これらの中に31属が認められている. 系統的にはミツバチ (ハナバチ) 群 Apiformes の姉妹群となる可能性が高い. 日本ではツチスガリ亜科 Cercerinae に属するツチスガリ属 *Cerceris* のみが生息する. 本属は世界に広く分布し, 約900種が知られる大きな属である. 主にゾウムシやハムシ類を中心に鞘翅目を狩る種が多く, 一部コハナバチ類等の膜翅類を餌として狩る. 寄主が営巣する場所周辺に見られる他, 放花性が強く, よく花上にも飛来する.

今日, 日本産種として17種が認められている. 常木(1961)による検索表では9種が掲載され, Yamane & Tano (1995) および山根(1999)による琉球列島産の種の検索表では12種が掲載されている. 日本産17種の内, ナガセツチスガリ *Cerceris. yuwanensis* とキマダラツチスガリ *C. xanthosoma* はオスのみが知られ, シロスジツチスガリ *C. lauta* ではメスのみが知られている.

北: 北海道, 本: 本州, 四: 四国, 九: 九州, 対: 対馬, 種: 種子島, 屋: 屋久島,
 琉: 琉球列島 (奄: トカラ・奄美諸島, 沖: 沖縄諸島, 宮: 宮古諸島, 八: 八重山諸島),
 伊: 伊豆諸島.

ツチスガリ属 *Cerceris* の種の検索

- 1a. 腹部は6節の可視節からなる.
 1b. 触角は12節からなる.
 (メス) 2
- 1aa. 腹部は7節の可視節からなる.
 1bb. 触角は13節からなる.
 (オス) 15

[メ ス]

- 2a. 腹部の横帯は腹部第2-5節 (個体によっては4節) まで規則的なくりかえしのパターンを示す (図4. A-1~C-1).
 2b. 腹部第2腹板の基部には隆起台 (長方形に突出した構造物) も小突起もない.
 3

- 2aa. 腹部の横帯のパターンは不規則 (図4. E-1 ; 図5. L-1).
- 2bb. 腹部第2腹板の基部に1対のこぶ状の小突起がある.
 6
- 2aaa. 腹部の横帯のパターンは不規則 (図5. F-1~J-1).
- 2bbb. 腹部第2腹板の基部に隆起台がある.
 7
- 3a. 頭盾の中央より上方に付属片はない.
 4
- 3aa. 頭盾の中央より上方に発達した付属片がある.
 5
- 4a. 脚は黄色 (やや赤味を帯びることがある) ; 体に黄斑を多くもち、後胸背板は黄色、前伸腹節と腹部第1背板にはそれぞれ1対の黄斑をもつ.
- 4b. 頭盾の先端近くに遊離した薄片 (付属物) がある.
- 4c. 前伸腹節の三角域は条刻される.
- 4d. 尾域の両側は平行に走り基部で合流しない.
 キスジツチスガリ *Cerceris arenaria* (Linnaeus, 1758) [本, 四, 九, 対]
- 4aa. 脚は赤色 ; 体の斑紋は白色がかり、後胸背板、前伸腹節、腹部第1背板に黄斑はなく黒色.
- 4bb. 頭盾先端は付属物をもたず、前縁に3個の切れ込みをもつ.
- 4cc. 前伸腹節の三角域は平滑で光沢がある.
- 4dd. 尾域の両側は基部で合流する.
 アカアシツチスガリ *Cerceris albofasciata* (Rossi, 1790) [本, 九, 屋]
- 5a. 頭盾前縁に1対の大きな歯状突起をもつ.
- 5b. 頭盾付属片に前方に突出する大きな突起はなく、前縁は凹状で両端に大きな突起をもつ.
 マエダテツチスガリ *Cerceris pedetes* Kohl, 1887 [北, 本]
- 5aa. 頭盾前縁は低台地状に突出し、明瞭な突起をもたない.
- 5bb. 頭盾付属片は前方に突出する大きな突起がある一方、前縁両端に大きな歯状突起はない.
 テングツチスガリ *Cerceris teranishii* Sato, 1927 [本]
- 6a. 腹部第1節、第2節は黒色で、第3節は黄帯をもつ.
- 6b. 頭盾は先端付近に葉状の付属物がある。上縁は変形しない.
- 6c. 触角第3節、第4節は長く、ともに長さは幅の約3倍.
 ソボツチスガリ *Cerceris sobo* Yasumatsu et Okabe, 1936 [本, 九]
- 6aa. 腹部第1節、第2節は橙黄色、第3節は黄色で前縁に黒色の細い帯をもつ.
- 6bb. 頭盾に付属物はない。ただし、上縁付近は上方に強く突き出る.
- 6cc. 触角第4節は長さが幅の2倍以下.
 オクムラツチスガリ *Cerceris okumurai* Tsuneki, 1968 [奄, 沖]
- 7a. 腹部第1節は背方から見て幅と長さがほぼ等しいか幅が大きい.
 8
- 7aa. 腹部第1節は背方から見て幅よりも長さが大きい.
 11

- 8a. 腹部第3背板の黄帯は中央部で深く湾入する(図5. I-1).
- 8b. 第2背板は通常基部に1対の黄斑か中央部がくくれた黄帯をもつ.
 マルモンツチスガリ *Cerceris japonica* Ashmead, 1904 [北, 本, 四, 九, 対, 屋, 伊]
- 8aa. 腹部第3背板の黄あるいは橙黄色の帯は中央部でわずかに狭まる程度.
- 8bb. 第2背板の基方は黒かあるいは広範に橙色.
 9
- 9a. 頭盾に付属物がある.
- 9b. 腹部第1節は全体が赤色.
 ミナミツチスガリ *Cerceris variaesimilis* Maidl, 1926 [九, 屋, 琉]
- 9aa. 頭盾に付属物がない.
- 9bb. 腹部第1節全体が赤色にはならない(アマミツチスガリでは橙黄色の場合がある).
 10
- 10a. 体の点刻は非常に強く密; 腹部第2, 第3背板では普通, 点刻間域は点刻自身の直径よりも小さい.
- 10b. 後胸背板は黒.
- 10c. 腹部第3背板の黄帯は, 背板の約半分を占める.
 ナミツチスガリ *Cerceris hortivaga* Kohl, 1880 [北, 本, 四, 九, 対, 屋]
- 10aa. 体の点刻はより表面的で疎; 腹部第2, 第3背板では普通, 点刻間域は点刻自身の直径よりも大きい.
- 10bb. 後胸背板は黄色から橙黄色.
- 10cc. 腹部第3背板の帯は橙黄色ではるかに幅広い.
 アマミツチスガリ *Cerceris amamiensis* Tsuneki, 1961 [奄, 沖]
- 11a. 体の斑紋は白色味が強い.
- 11b. 頭盾の付属物は非常に細く, 前縁は裁断状とならない.
 シロスジツチスガリ *Cerceris lauta* Yamane et Tano, 1995 [八]
- 11aa. 体の斑紋は黄あるいは橙色.
- 11bb. 頭盾の付属物はより広く, 前縁は裁断状となる.
 12
- 12a. 体は広範に橙黄色斑を装う; 腹部第2節はほぼ全域が橙黄色.
- 12b. 頭盾付属物は非常に高い.
 ハナダカツチスガリ *Cerceris tomiyamai* Yamane et Tano, 1995 [奄]
- 12aa. 体の斑紋は黄色で発達はよくない(小盾板, 後胸背板, 腹部第2背板は全体が黒); 腹部は第3節のみに, あるいは第3節と第5節に黄帯がある.
- 12bb. 頭盾付属物はより低い.
 13
- 13a. 頭盾付属物は大きく, 正面から見て頭盾前縁を覆う.
- 13b. 腹部第5節に黄帯をもつ.
 クマモトツチスガリ *Cerceris kumamotonis* Tsuneki, 1978 [九]
- 13aa. 頭盾付属物は小さく, 正面から見て頭盾前縁に届かない.

- 13bb. 腹部第5節は全体が黒色.
 14
- 14a. 頭盾前縁に5個の歯をもつ.
- 14b. 頭盾付属物の中央に縦稜はない.
 ヒメツチスガリ *Cerceris carinalis* Pérez, 1905 [北, 本, 四, 九]
- 14aa. 頭盾前縁に4個の歯をもつ.
- 14bb. 頭盾付属物の中央に縦稜がある.
 ニッポンツチスガリ *Cerceris nipponensis* Tsuneki, 1961 [北, 本, 四, 九, 対, 屋]

[オ ス]

- 15a. 腹部の横帯は腹部第2-5節まで規則的なくりかえしのパターンを示す (図4. A-2~D-2).
- 15b. 腹部第2腹板は隆起台も小突起もない.
 16
- 15aa. 腹部の横帯のパターンは不規則 (図4. E-2).
- 15bb. 腹部第2腹板は基方に1対の小突起をもつ (小突起は不明瞭な場合があり, その場合は腹部第2背板の基方に赤斑がある).
 19
- 15aaa. 腹部の横帯のパターンは不規則 (図5. F-2~J-2).
- 15bbb. 腹部第2腹板は基方に隆起台をもつ (隆起台は, ときに後方の縁どりが不明瞭: 隆起台がやや不明瞭な場合は, 腹部第1, 第2背板に赤斑がある).
 21
- 16a. 頭盾の上縁部は側方から見て強く高まる.
 テングツチスガリ *Cerceris teranishii* Sato, 1927 [本]
- 16aa. 頭盾の上縁部の高まりは側方から見て弱い.
 17
- 17a. 触角は上面, 下面ともに黄褐色.
 マエダテツチスガリ *Cerceris pedetes* Kohl, 1887 [北, 本]
- 17aa. 触角の上面は黒色.
 18
- 18a. 触角柄節の下面は広く黄色.
- 18b. 全ての脚の腿節は部分的に黒.
- 18c. 前伸腹節の三角域は明瞭に条刻される.
 キスジツチスガリ *Cerceris arenaria* (Linnaeus, 1758) [本, 四, 九, 対]
- 18aa. 触角柄節はふつう褐色 (ときに下面が黄色).
- 18bb. 全ての脚の腿節は黄色でやや赤味を帯びる.
- 18cc. 前伸腹節の三角域は平滑で光沢がある.
 アカアシツチスガリ *Cerceris albofasciata* (Rossi, 1790) [本, 九, 屋]
- 19a. 中胸背板は黄斑を欠く.
 20

- 19aa. 中胸背板は1対の黄斑をもつ。
 キマダラツチスガリ *Cerceris xanthosoma* Yamane et Tano, 1995 [奄]
- 20a. 腹部第2背板に黄色斑はない。
- 20b. 額と頭盾は強く密に点刻される。
- 20c. 触角の各節は細長く、第3節は長さが幅の約2.5倍。第4節から第9節までの各節も幅より長さが長い。
 ソボツチスガリ *Cerceris sobo* Yasumatsu et Okabe, 1936 [本, 九]
- 20aa. 腹部第2背板の基方に赤色の斑紋がある。
- 20bb. 額と頭盾は弱く疎に点刻され、光沢がある。
- 20cc. 触角第3節の長さは幅の2倍より小さい。第4節から第9節までの各節は幅と長さと同じかあるいは短い。
 オクムラツチスガリ *Cerceris okumurai* Tsuneki, 1968 [奄, 沖]
- 21a. 腹部第1節は幅と長さと同じか、あるいは幅が長さより大きい。もし、長さが幅よりわずかに大きい場合は、頭盾の前縁に3歯がある。
 22
- 21aa. 腹部第1節は幅より長さがはるかに大きい。
 25
- 22a. 触角柄節はほぼ全体が黄色。
 ミナミツチスガリ *Cerceris variaesimilis* Maidl, 1926 [九, 屋, 琉]
- 22aa. 触角柄節は全体異色か、前面のみ部分的に黄色。
 23
- 23a. 前伸腹節は1対の大きな(まれに小さな)橙黄色の斑紋をもつ。
- 23b. 頭盾の前縁中央部は弱く3歯状になる。
 アマミツチスガリ *Cerceris amamiensis* Tsuneki, 1961 [奄, 沖]
- 23aa. 前伸腹節は1対の黄色の斑紋をもつか、あるいは斑紋はない。
- 23bb. 頭盾の前縁中央部は直線状。
 24
- 24a. 腹部第3背板後縁の黄帯は前方中央で深く切れ込まない(図5. H-2)。
- 24bb. 腹部第2背板は黒色で黄斑はない。
 ナミツチスガリ *Cerceris hortivaga* Kohl, 1880 [北, 本, 四, 九, 対, 屋]
- 24aa. 腹部第3背板の黄帯は前方中央で深く切れ込む(図5. I-2)。
- 24bb. 腹部第2背板の基方に通常黄斑がある。
 マルモンツチスガリ *Cerceris japonica* Ashmead, 1904 [北, 本, 四, 九, 対, 屋, 伊]
- 25a. 頭盾の前縁中央部は前方に突き出る。また、前縁両側縁は角ばらない。
- 25b. 腹部第2背板と第3背板の後縁にそれぞれ黄帯をもつ。
 ナガセツチスガリ *Cerceris yuwanensis* Tsuneki, 1982 [奄]
- 25aa. 頭盾の前縁中央に小さな歯状、あるいは刺状の突起をもつ。また、前縁両側縁は角ばる。
- 25bb. 腹部第3背板の後縁に幅広い黄帯をもち、第5、第6背板の後縁にも細い黄帯をもつ。
 クマモトツチスガリ *Cerceris kumamotonis* Tsuneki, 1978 [九]

- 25aaa. 頭盾の前縁中央部はほぼ直線的. 前縁両側縁は角ばらない.
- 25bbb. 腹部第2背板に黄帯はない(ハナダカツチスガリでは第2背板全体が橙黄色).
 26
- 26a. 前伸腹節は弱く疎に点刻される.
- 26b. 小盾板, 後胸背板, 腹部第2, 第3背板は橙黄色.
 ハナダカツチスガリ *Cerceris tomiyamai* Yamane et Tano, 1995 [奄]
- 26aa. 前伸腹節は強く密に点刻される.
- 26bb. 小盾板, 後胸背板, 腹部第2背板は黒(第3背板の後縁に黄帯をもつ).
 27
- 27a. 中脚転節は黒色.
 ... ニッポンツチスガリ *Cerceris nipponensis* Tsuneki, 1961 [北, 本, 四, 九, 対, 屋]
- 27aa. 中脚転節は黄色.
 ヒメツチスガリ *Cerceris carinalis* Pérez, 1905 [北, 本, 四, 九]

種 の 概 説

アカアシツチスガリ *Cerceris albofasciata* (Rossi, 1790) [図4. A]

体長8-13mm. メスでは脚が赤色から赤褐色であることから他種と容易に区別される. オスの脚は全体が黄から橙黄色となる. 腹部の第2背板から第5背板(時に第6背板)後縁には中央部が途切れる細い黄帯がある. 腹部第2腹板に隆起物はない.

カメノコハムシ類 *Cassida* を狩る.

分布: 本州, 九州, 屋久島; 朝鮮半島, 中国, ユーラシア.

キスジツチスガリ *Cerceris arenaria* (Linnaeus, 1758) [図4. B]

体長10-15mm. 体は黒色で, 腹部第2背板から第6背板後縁にそれぞれ黄色帯をもつ. 後胸背板は黄色. 腹部第1節には1対の黄斑をもつ. メスでは前伸腹節にも1対の黄斑をもつ. 腹部第2腹板に隆起台はない.

本種の日本と朝鮮半島の個体群には, 亜種 *C. a. yanoi* Tsuneki, 1971の名称が与えられている. 砂地に住むヒョウタンゾウムシ類 *Scarites* を餌として狩り, やはり砂地に営巣する.

分布: 本州, 四国, 九州, 対馬; 朝鮮半島, 中国, ユーラシア, 北アフリカ.

ヒメツチスガリ *Cerceris carinalis* Pérez, 1905 [図5. F]

体長7-10mm. 胸部に黄色部はない. 腹部第1背板は細長く, 長さが幅よりも大きい. 第3背板の後縁に黄色帯がある. 腹部第2腹板の前方に隆起台があるが, 顕著ではない. メスの頭盾前縁は5歯をもつ. またオスでは中脚転節が黄色であることで, 近似のニッポンツチスガリと区別される.

山地に普通に見られる. 狩りの対象としてゾウムシ類とハムシ類が報告されている.

分布: 北海道, 本州, 四国, 九州; 朝鮮半島.

アマミツチスガリ *Cerceris amamiensis* Tsuneki, 1961 [図5. K]

体長8-16mm. 体の斑紋は橙黄色から橙色. 前胸背と後胸背板に橙斑がある. 腹部第2背板の基方か後縁にメスでは橙黄色の帯が, オスでは2斑紋がある.

腹部第2腹板の前方に隆起物がある.

本種には *C. a. amamiensis* Tsuneki, 1961 アマミツチスガリ奄美亜種 (原名亜種) ・アマミツチスガリ, *C. a. geboharti* Tsuneki, 1969 アマミツチスガリ沖縄亜種 ・オキナワツチスガリ, *C. a. tokunosimana* Tsuneki, 1973 アマミツチスガリ徳之島亜種 ・トクノシマツチスガリの3亜種が認められている. 奄美大島の個体群はコハナバチ類 *Lasioglossum* やムカシハナバチ類 *Colletis* を狩ることが観察されている.

分布: 奄美大島, 徳之島, 沖縄島.

本種における亜種の区分は次の通り:

1a. 腹部第2節の後縁に橙色の横帯をもつ.

1b. 前伸腹節は黒色.

..... *Cerceris amamiensis amamiensis* Tsuneki, 1961 アマミツチスガリ奄美亜種 ・アマミツチスガリ 奄 (奄美大島)

1aa. 腹部第2節の後縁に橙色の横帯をもたない.

1bb. 前伸腹節はほぼ全体が橙黄色となる.

..... *Cerceris amamiensis tokunosimana* Tsuneki, 1973 アマミツチスガリ徳之島亜種 ・トクノシマツチスガリ 奄 (徳之島)

1aaa. 腹部第2節の後縁に橙色の横帯をもたない.

1bbb. 前伸腹節は黒色で, 橙黄色の斑紋はあっても, ほぼ全体が橙黄色とはならない.

..... *Cerceris amamiensis geboharti* Tsuneki, 1969 アマミツチスガリ沖縄亜種 ・オキナワツチスガリ 沖

ナミツチスガリ *Cerceris hortivaga* Kohl, 1880 [図5. H]

体長7-15mm. 腹部第3背板の後縁に横帯がある. 第4, 第5背板の後縁にも細い黄帯をもつ場合が多い. 腹部第2腹板の前方に隆起台をもつ.

各地に普通に見られるが山地に多く, 夏期に出現する. コハナバチ類 *Lasioglossum* やヒメハナバチ類 *Andrena* を狩る.

分布: 北海道, 本州, 四国, 九州, 対馬, 種子島, 屋久島; 朝鮮半島, 中国, ユーラシア.

マルモンツチスガリ *Cerceris japonica* Ashmead, 1904 [図5. I]

体長9-16mm. 腹部第2背板前半部に黄色の斑紋があり, 第3背板後縁には中央が丸くえぐれる幅の広い黄帯をもつ. 腹部第2腹板の前方に半円形の隆起物をもつ. メスでは前胸背板両側に黄紋をもつ場合が多い.

平地に比較的普通に見られ, ナミツチスガリと同様にコハナバチやヒメハナバチ類を狩る. 巣は土中30cmを越える深い場所に作る.

分布: 北海道, 本州, 四国, 九州, 対馬, 屋久島, 口永良部島, 伊豆諸島.

クマモトツチスガリ *Cerceris kumamotonis* Tsuneki, 1978 [図5. J]

体長8-12cm. 腹部第1背板は幅よりも長さが大きく、腹部第2腹板の前方に隆起物をもつ。メスの頭盾の付属物は大きく、頭盾前縁を覆い、腹部第3背板から第5背板後縁に黄帯を持つ。オスの頭盾前縁中央部に歯状あるいは刺状の突起を1個もつ。腹部第3背板の後縁に幅広い黄帯をもち、第5、第6背板の後縁にも細い黄帯をもつ。また、中脚転節に黄斑がある。

これまでのところ熊本県五木市五家荘と鹿児島県霧島山地から知られている。

分布：九州。

ニッポンツチスガリ *Cerceris nipponensis* Tsuneki, 1961 [図5. G]

体長9-12mm. 腹部第1背板は細長く、長さが幅よりも大きい。腹部第3背板には幅広い黄帯がある。メスでは第5背板後縁にも細い黄帯をもち、オスでは第6背板後縁に細い黄帯がある場合がある。腹部第2腹板の前方に隆起台をもつ。胸部に黄色部をもたない。ヒメツチスガリに類似するが、メスでは頭盾の前縁に4歯をもつことにより（ヒメツチスガリでは5歯）、オスでは中脚転節が黒色であることによって（ヒメツチスガリでは黄色）区別可能である。

山地に比較的普通に見られ、ゾウムシ類を餌として狩る。

分布：北海道、本州、四国、九州、対馬、屋久島；朝鮮半島。

オクムラツチスガリ *Cerceris okumurai* Tsuneki, 1968 [図5. L]

体長13-14mm. 腹部第1背板と第2背板の基方は赤褐色で、第3背板は全体が黄色。腹部第2腹板の基方に1対のこぶ状の突起がある（オスでは突起がやや不明瞭となる）。

オオカシクチブトゾウムシ *Mylocerus neglectus* を狩ることが報告されている。

分布：奄美諸島、沖縄島。

マエダテツチスガリ *Cerceris pedetes* Kohl, 1887 [図4. D]

メスで体長17mm, オスで12-14mmの大形種。腹部第2背板から第6背板の後縁にそれぞれ黄色帯をもつ。腹部第2腹板に隆起台はない。メスの頭盾付属物は大きく前方に突起し、前縁は広く深くえぐれ、両端は角状の突起となる。また、頭盾前縁にも1対の突起をもつ。オスでは触角全体が黄褐色となる。

分布：北海道、本州；朝鮮半島、中国、シベリア、ユーラシア東部。

ソボツチスガリ *Cerceris sobo* Yasumatsu et Okabe, 1936 [図4. E]

体長10-15mm. 触角が長く、第3節、第4節はメスでそれぞれの長さが幅の約3倍、オスで約2.5倍あることで他種と容易に区別される。腹節第1背板は長さより幅が広い。第3背板の後縁に黄帯をもつ。第5、第6背板の後縁にも細い黄帯をもつ。腹部第2腹板の基方に隆起物はないが、1対のこぶ状突起をもつ。

クチブトゾウムシ亜科 Otiorhynchinae に属するゾウムシ類を餌として狩る。

分布：本州、九州；朝鮮半島。

テングツチスガリ *Cerceris teranishii* Sato, 1927 [図4. C]

体長8-12mm. 腹部第2背板から第4背板あるいは第5背板後縁に規則的な黄帯をもつ. メスでは頭盾付属物が顕著に前方に突出することで本土産の他種と容易に区別される. オスでは側方から見て頭盾基方部がより高まり, 触角は黒色となる.

本種へ適用する学名には異論もあり, 本学名は *Cerceris eversmanni* Schulz, 1912 の同物異名となる可能性もある. 日本では岩手県からのみ知られている.

分布: 本州.

ミナミツチスガリ *Cerceris variaesimilis* Maidl, 1926

体長7-9mmの小形種. メスの腹部第1背板は赤褐色, オスでは黒色. 第2背板基方, 第3背板と第5背板のそれぞれの後縁に中央が湾入する黄色の帯がある. オスでは第6背板の後縁にも黄色横帯がある. 腹部第2腹板に板状の隆起物がある.

分布: 九州, 屋久島, 琉球列島; 台湾, 中国, 東南アジア.

ナガセツチスガリ *Cerceris yuwanensis* Tsuneki, 1982

体長9mm. 頭盾前縁は中央で前方に突出する. 腹部第1背板は細長く, 幅よりも長さが大きい. 第2, 第3背板に幅広い黄帯があり, 第6背板後縁にも黄帯がある. 腹部第2腹板に板状の隆起物がある. これまでのところオスのみが知られている.

分布: 奄美大島.

シロスジツチスガリ *Cerceris lauta* Yamane et Tano, 1995

体長9-10mm. 体の斑紋が白色であることから, 他種と容易に区別される. 前伸腹節に1対の白色の大紋がある. 腹部第1背板は長さが幅よりも大きい. 第2腹板の基部に, やや不明瞭ながら板状の隆起物がある.

メスのみが知られている.

分布: 八重山諸島.

ハナダカツチスガリ *Cerceris tomiyamai* Yamane et Tano, 1995

体長8-11mm. 体に黄斑が多く見られ, オス, メスともに小盾板, 後胸背板, 腹部第2背板, 第3背板の全域が濃黄色であることから他種と容易に区別される. 腹部第1背板は長さが幅よりも大きい. 第5背板に濃黄色の太い帯がある. 第2腹板の基方に板状の隆起物をもつ. メスの頭盾には, 先端が裁断された形状の高く突出した付属物がある. 頭盾前縁中央部はほぼ直線状.

分布: 沖永良部島.

キマダラツチスガリ *Cerceris xanthosoma* Yamane et Tano, 1995

体長12mm. 頭部, 胸部に黄色斑が多く見られ, 前伸腹節にも大きな1対の黄斑がある. 腹部第1背板は細長く, 長さが幅よりも大きい. また, 基方に1対の黄色斑をもつ. 第2背板の基方に太い黄帯があり, 第2背板から第5背板の後縁に細い黄帯をもつ. 第2腹板には板状の隆起物がある.

これまでのところオスのみが知られている.

分布: 奄美大島.

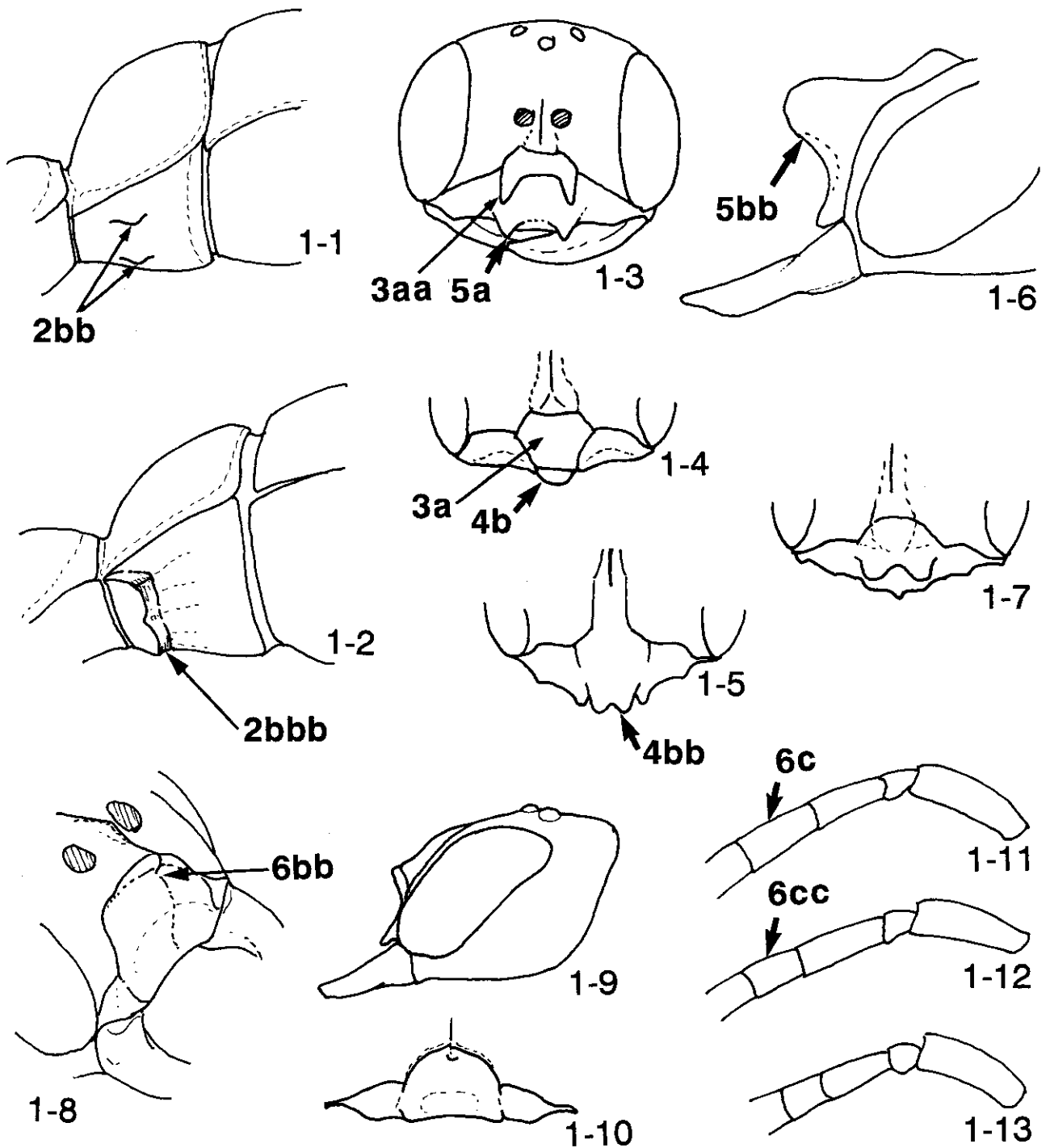


図1. ツチスガリ属 *Cerceris* の種検索 (メス).

1-1, 1-7, 1-11, ソボツチスガリ *Cerceris sobo*; 1-2, ナミツチスガリ *Cerceris hortivaga*; 1-3, マエダテツチスガリ *Cerceris pedetes* (常木, 1961, をもとに描く); 1-4, キスジツチスガリ *Cerceris arenaria*; 1-5, アカアシツチスガリ *Cerceris albofasciata*; 1-6, テングツチスガリ *Cerceris teranishii*; 1-8, 1-9, 1-10, 1-12, オクムラツチスガリ *Cerceris okumurai*; 1-13, マルモンツチスガリ *Cerceris japonica*.

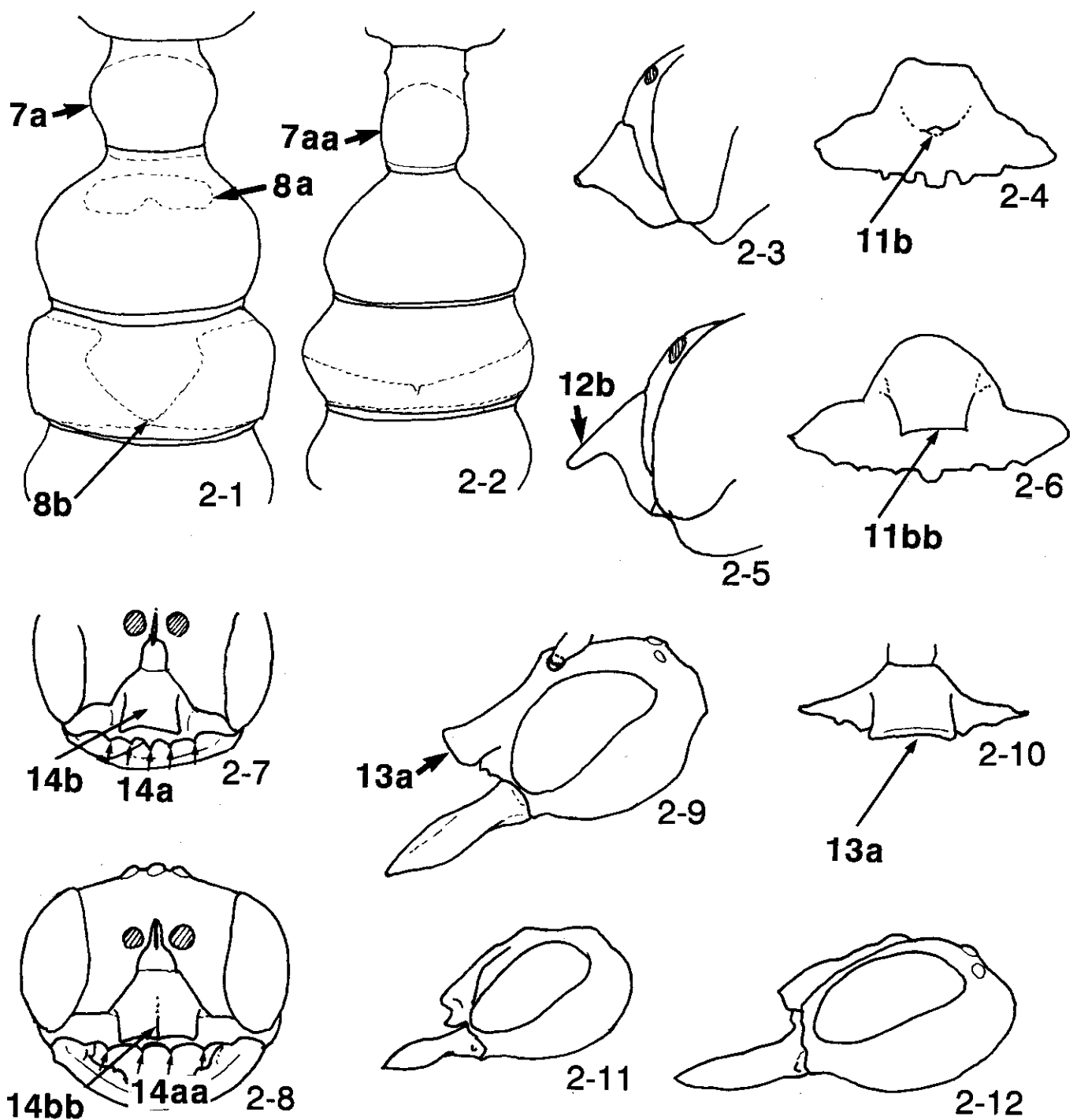


図2. ツチスガリ属 *Cerceris* の種検索 (メス).

2-1, マルモンツチスガリ *Cerceris japonica* ; 2-2, 2-7, 2-11, ヒメツチスガリ *Cerceris carinalis* ; 2-3, 2-4, シロスジツチスガリ *Cerceris lauta* (Yamane & Tano, 1995, をもとに描く) ; 2-5, 2-6, ハナダカツチスガリ *Cerceris tomiyamai* (Yamane & Tano, 1995, をもとに描く) ; 2-9, 2-10, クマモトツチスガリ *Cerceris kumamotonis* ; 2-8, 2-12, ニッポンツチスガリ *Cerceris nipponensis*.

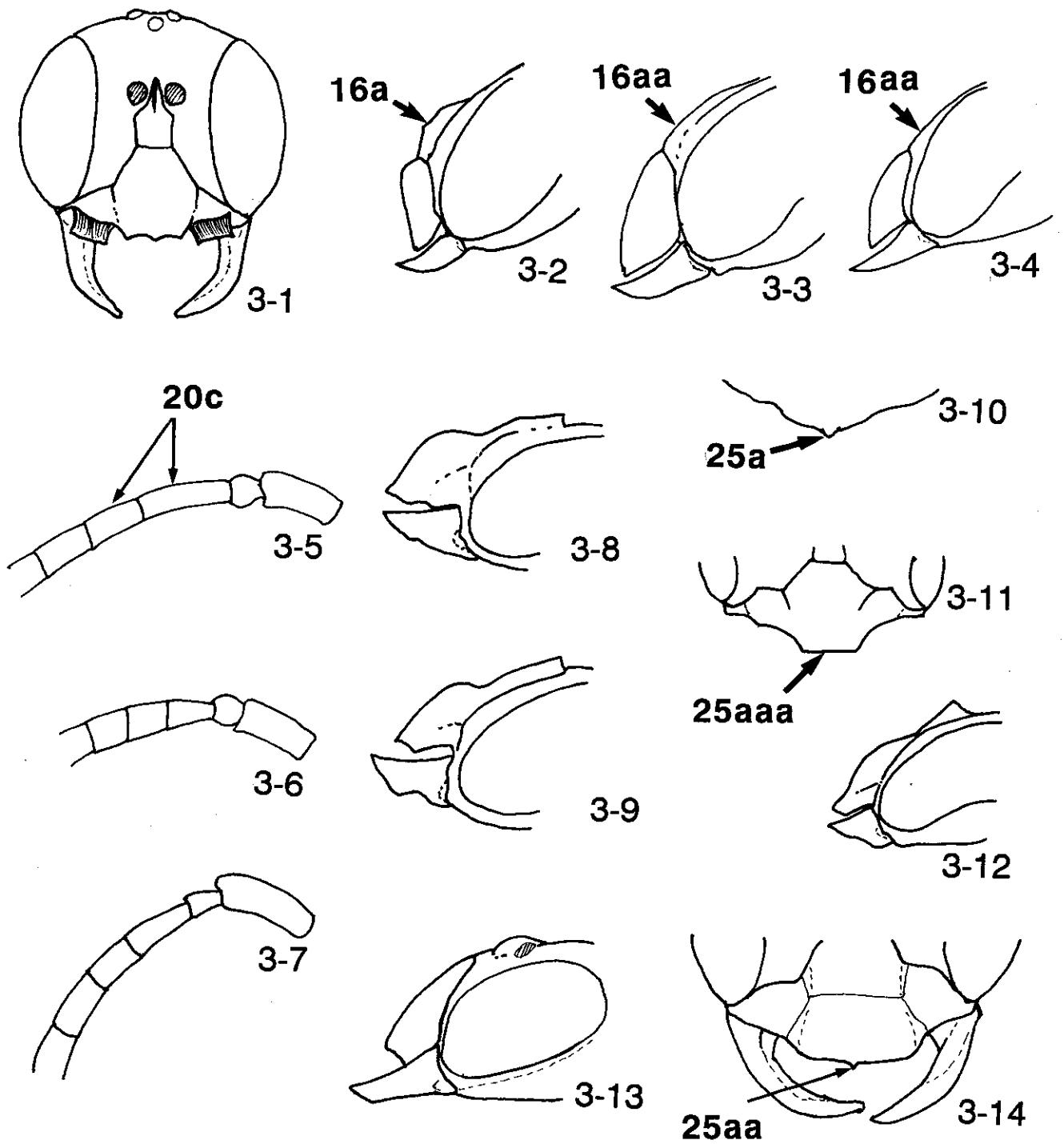


図3. ツチスガリ属 *Cerceris* の種検索 (オス).

3-1, 3-2, テングツチスガリ *Cerceris teranishii*; 3-3, キスジツチスガリ *Cerceris arenaria*; 3-4, アカアシツチスガリ *Cerceris albofasciata*; 3-5, ソボツチスガリ *Cerceris sobo*; 3-6, 3-8, マルモンツチスガリ *Cerceris japonica*; 3-7, 3-13, 3-14, クマモトツチスガリ *Cerceris kumamotonis*; 3-9, ナミツチスガリ *Cerceris hortivaga*; 3-10, ナガセツチスガリ *Cerceris yuwanensis*; 3-11, 3-12, ニッポンツチスガリ *Cerceris nipponensis*.

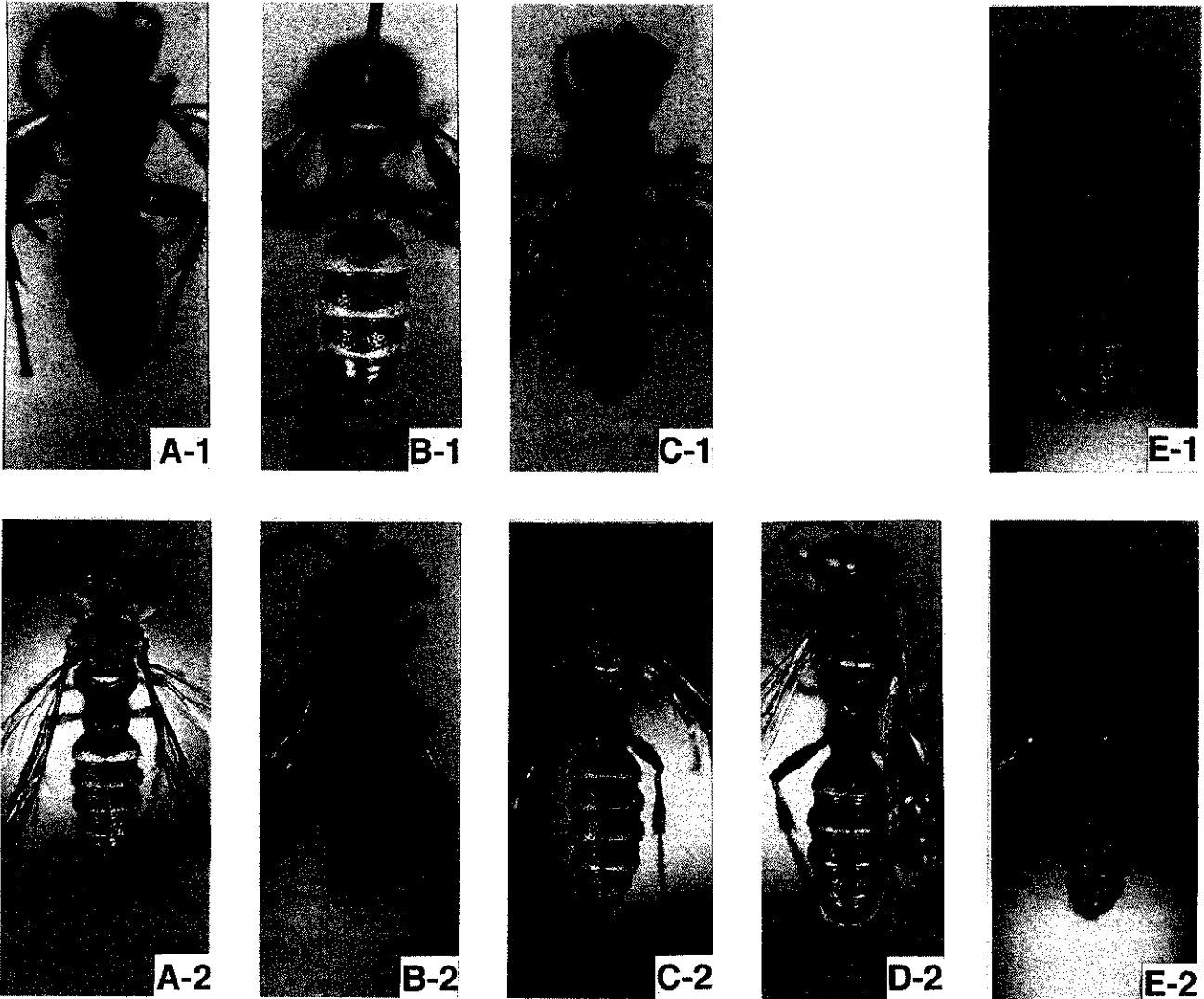


図4. ツチスガリ属 *Cercheris* の種 (1).

A, アカアシツチスガリ *Cercheris albofasciata* ; B, キスジツチスガリ *Cercheris arenaria* ; C, テングツチスガリ *Cercheris teranishii* ; D, マエダテツチスガリ *Cercheris pedetes* ; E, ソボツチスガリ *Cercheris sobo*.

(ローマ字に続く数字-1はメスを, -2はオスを表わす.)

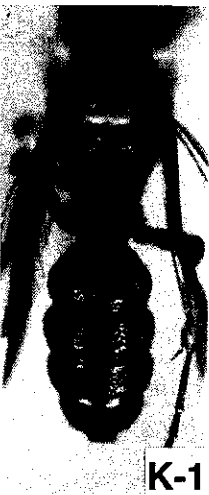
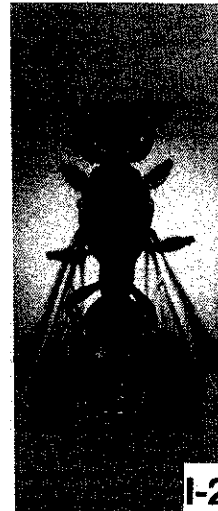
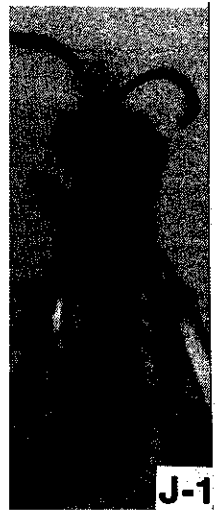


図5. ツチスガリ属 *Cercheris* の種 (2).

F, ヒメツチスガリ *Cercheris carinalis* ;

G, ニッポンツチスガリ *Cercheris nipponensis* ;

H, ナミツチスガリ *Cercheris hortivaga* ;

I, マルモンツチスガリ *Cercheris japonica* ;

J, クマモトツチスガリ *Cercheris kumamotonis* ;

K, アマミツチスガリ *Cercheris amamiensis* ;

L, オクムラツチスガリ *Cercheris okumurai*.

(ローマ字に続く数字 -1はメスを, -2はオスを表わす.)

ノ　ー　ト

アマミツチスガリ *Cerceris amamiensis* (= *C. hortivaga amamiensis*), クマモトツチスガリ *C. kumamotonis*, オクムラツチスガリ *C. okumurai*, ナガセツチスガリ *C. yuwanensis* の基準標本の写真が Hashimoto & Nakanishi (1997, 1999) に示されている。

日本産ツチスガリ属 *Cerceris* 目録.

Genus *Cerceris* ツチスガリ属

- Cerceris albofasciata* (Rossi, 1790) アカアシツチスガリ 本, 九, 屋; 朝, 中, ユーラシア
- Cerceris arenaria* (Linnaeus, 1758) キスジツチスガリ
- Cerceris arenaria yanoi* Tsuneki, 1971 キスジツチスガリ本土亜種・キスジツチスガリ
本, 四, 九, 対; 朝
- Cerceris carinalis* Pérez, 1905 ヒメツチスガリ 北, 本, 四, 九; 朝
- Cerceris amamiensis* Tsuneki, 1961 アマミツチスガリ
- Cerceris amamiensis amamiensis* Tsuneki, 1961 アマミツチスガリ奄美亜種・アマミツチスガリ
奄 (奄美大島)
- Cerceris amamiensis geboharti* Tsuneki, 1969 アマミツチスガリ沖縄亜種・オキナワツチスガリ
沖
- Cerceris amamiensis tokunosimana* Tsuneki, 1973 アマミツチスガリ徳之島亜種・トクノシマツチスガリ
奄 (徳之島)
- Cerceris hortivaga* Kohl, 1880 ナミツチスガリ 北, 本, 四, 九, 対, 屋; 朝, 中, ユーラシア
- Cerceris japonica* Ashmead, 1904 マルモンツチスガリ 北, 本, 四, 九, 対, 屋, 伊
- Cerceris kumamotonis* Tsuneki, 1978 クマモトツチスガリ 九
- Cerceris nipponensis* Tsuneki, 1961 ニッポンツチスガリ 北, 本, 四, 九, 対, 屋
- Cerceris okumurai* Tsuneki, 1968 オクムラツチスガリ 奄, 沖
- Cerceris pedetes* Kohl, 1887 マエダテツチスガリ 北, 本; 朝, 中, シベリア, ユーラシア東部
- Cerceris sobo* Yasumatsu et Okabe, 1936 ソボツチスガリ 本, 九; 朝
- Cerceris teranishii* Sato, 1927 テングツチスガリ 本 [*Cerceris eversmanni* Schulz, 1912 の
同物異名の可能性あり]
- Cerceris variaesimilis* Maidl, 1926 ミナミツチスガリ 九, 屋, 琉; 台, 中, 東南アジア
- Cerceris yuwanensis* Tsuneki, 1982 ナガセツチスガリ 奄
- Cerceris lauta* Yamane et Tano, 1995 シロスジツチスガリ 八
- Cerceris tomiyamai* Yamane et Tano, 1995 ハナダカツチスガリ 奄 (沖永良部島)
- Cerceris xanthosoma* Yamane et Tano, 1995 キマダラツチスガリ 奄

謝 辞

本稿の草稿を御検討下さるとともに貴重なご助言を賜り、さらに貴重な標本を御貸与下さった南部敏明氏に心から御礼申し上げます。

参 考 文 献

- 羽田義任, 1967. ヒメツチスガリとニッポンツチスガリの雄の識別について. 生物研究 (福井), 11 : 1-3.
- 羽田義任, 1972. ソボツチスガリの生態. 生物研究 (福井), 16 : 54-58.
- Hashimoto Y. & A. Nakanishi, 1997. A list of the type-specimens of Hymenoptera described by K. Tsuneki in the Museum of Nature and Human Activities, Hyogo (MNHAH). Cat Coll. Mus. Nature and Human Activities, (2) : 1-47, 8 plates.
- Hashimoto Y. & A. Nakanishi, 1999. Additions to the list of Tsuneki's type-specimens of Hymenoptera in the Museum of Nature and Human Activities, Hyogo. Nature and Human Activities, (4) : 55-58.
- 田 堃 正, 1982. クマモトツチスガリの雄. 蜂友通信, 14 : 35.
- Tsuneki, K., 1961. Studies on *Cerceris* of north eastern Asia (Hymenoptera, Sphecidae). Mem. Fac. Lib. Arts Fukui Univ., Ser. 2 (Nat. Sci.), 11 : 1-72.
- Tsuneki, K., 1968. Descriptions and records of some fossorial wasps in Japan (Hym., Sphecidae). Etizenia, Fukui, 27 : 1-8.
- Tsuneki, K., 1970. Studies on the Formosa Sphecidae (VII) The subfamily Philanthinae (Hymenoptera). Etizenia, Fukui, 44 : 1-24.
- Tsuneki, K., 1978. On two species of Sphecidae in Japan (Hymenoptera). Trans. Shikoku Ent. Soc., 14 : 81-83.
- Tsuneki, K., 1982. *Cerceris yuwanensis* sp. nov. from the Island Amami-oshima, the Ryukyu (Hymenoptera, Sphecidae). Spec. Publ. Jpn. Hymen. Assoc., 23 : 77-78.
- 常木勝次, 1948. ツチスガリ秘話. 新昆虫, 1(2) : 32-35.
- 常木勝次, 1961. 蜂類研究手引き(14) (4) ツチスガリ (*Cerceris*) 属. 生物研究 (福井), 5 (3/4) : 57- 63.
- 常木勝次, 1968a. 数種アナバチ科の紹介. 生物研究 (福井), 12 : 65-68.
- 常木勝次, 1968b. ヒメツチスガリとニッポンツチスガリの雄について. 生物研究 (福井), 12 : 58-59.
- 常木勝次, 1970. ミナミツチスガリ本土からの初記録. 生物研究 (福井), 14 : 14-15.
- 常木勝次, 1971. 日本のキスジツチスガリは一新亜種. 生物研究 (福井), 15 : 18.
- 常木勝次, 1973. 日野山のソボツチスガリの巣. 生物研究 (福井), 17 : 127-128.
- 山根正気, 1999. ツチスガリ属. 南西諸島産有剣ハチ・アリ類検索図説 (山根正気・幾留秀一・寺山 守共著). 北海道大学図書刊行会, 538-548.
- 山根正気・幾留秀一・寺山 守, 1999. 南西諸島産有剣ハチ・アリ類検索図説. 北海道大学図書刊行会, 831 pp., 24 plates.
- Yamane Sk. & T. Tano, 1995. The Ryukyu species of the genus *Cerceris* (Hymenoptera, Sphecoidea, Philanthidae). Jpn. Jour. Syst. Ent., 1 : 11-21.